

# 幼稚園だより

# 11月号

# ちよだ



令和6年10月31日  
千代田区立千代田幼稚園  
園長 須藤 敏之

## あこがれの5年生との交流

園長 須藤 敏之

園庭の木々を揺らす風が涼しく、秋の訪れを実感できる季節となりました。

10月28日、5歳児すみれ組と4歳児さくら組の子どもたちは、千代田小学校の5年生と交流（授業）を行いました。第1回目は、園児たちが5年生の教室を訪問しての交流です。

はじめに、5年生とペアやトリオになって自己紹介をし、幼稚園側の出し物として、「なべなべそこぬけ」と「夢をかなえてドラえもん」のダンスを一緒に踊って遊びました。「なべなべそこぬけ」は、園児たちの得意な遊びです。5年生も昔を思い出しながら(?)見様見真似でやってみますが、園児にはかないません。園児たちは、得意顔です。「夢をかなえてドラえもん」のダンスは、親子運動日の時と同じように、終わりに「ぎゅーっ」とする時間がありました。緊張していた園児はニコニコの笑顔になり、すぐに5年生と仲良しになりました。

その後は、すみれ組は5年1組に、さくら組は5年2組に分かれての交流です。5年1組は、クイズ・手品・ごっこ遊び・迷路・工作と劇・ぬり絵・色水遊びのお店を、5年2組は、昔遊び・輪投げ・ビー玉転がし・手品・ぬりえ・射的・ブラックボックス・お絵描き等、たくさんのお店を用意してくれていました。園児はグループの5年生と相談しながら好きなお店に入り、思う存分遊びを楽しんでいました。園児に人気のお店は、すみれ組の子どもたちは、色水遊びとごっこ遊び、さくら組の子どもたちは、ぬり絵と手品でした。

終わりの会では、すみれ組の数名の子が、「手品（の仕掛け）がどうなっているのかわからなくてすごかった。」「ケーキをつくるコーナーでお手伝いできて楽しかった。」等々、交流を満喫できた気持ちを発表していました。5年生は、交流後の振り返りの中で、「できたものを持って帰る園児が多く、そこまで準備をがんばって良かった。」「初対面だったけど、名前を憶えて呼んであげると嬉しそうだったから、1年生のお世話の時も名前で呼んであげたい。」等と、園児を鏡にして自分自身をよく振り返ることができ成長が見られた姿に、担任の先生は目を細めていました。

この交流のねらいは、5年生との触れ合う遊びを通して、人間関係や体験を広げるとともに、優しく接してくれた嬉しさや楽しさ、頼もしさから小学校への憧れや期待といった、小学校以降の学習の基盤となる芽生えを培うことにあります。5年生が園児を喜ばせるお店をよく考えて準備をし、徹して寄り添い優しくエスコートしてくれたお陰でそのねらいは十分に達成できました。千代田小学校の5年生と先生方、本当にありがとうございました。

第2回の交流は11月22日、5年生を園にお迎えして行います。憧れの5年生をどのようにおもてなしすることができるのか、園児たちは、今からわくわくドキドキしています。

11月も、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



千代田幼稚園のホームページもご覧ください